

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関の開錠については、実施できる時間について引き続き検討をしておきたい。	鍵をかけないケアに取り組む	外部評価翌日に支援2の徘徊される方が新しく入居。帰宅願望強く、常時の開錠は難しいが、職員が3人体制の時間帯で開錠できないか検討する、	6ヶ月
2	36	羞恥心や自尊心に配慮した支援として、異性介助になる際には、声掛けを行い、利用者の意向を確認しておきたい。	プライバシーに配慮する	特に入浴や排泄介助で異性介助の際は「本日は私が対応します」とひと声かけるようにする	1ヶ月
3	45	入浴を楽しみにしている利用者もいる事をふまえ、利用者が選択できる場面として、予定日でなくても、入浴の案内の声掛けをしておきたい。	固定メンバーでなく入りたい日に入れるようにする	業務のゆとりがある日を中心に入浴の声掛けをし入りたい人に入っていたりできるようにする	3ヶ月
4	49	健康面の配慮や気分転換に、日常的に外気に触れる時間も取り入れておきたい。	近場でも良いのでドライブや散歩を計画していく	空き時間に近場のドライブや施設周りの散歩を計画していく	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。